



二度と白衣を戦場の血で汚さない

かがやけ!

日本医労連憲法平和対策委員会

2014年7月8日

憲法ニュースNo.14

各地で広がる怒りの声と運動!

日本医労連中国地方協議会は6月1日、ブロック会議（山口県下関市）終了後、唐戸市場で、医療・介護総合法案の廃止、集団的自衛権行使容認反対など、国民のいのちと暮らしをまもる緊急宣伝行動を行いました。中国5県の代表がそれぞれマイクで訴えたほか、買い物客や市民らに、チラシ付ティッシュを配布しアピールしました。行動には12名が参加しました。



岩手県医労連でも執行委員会にあわせて白衣の署名宣伝行動を予定しています。

本部、平和の街頭宣伝行動実施

7月8日、多くの人が集まるお祭り朝顔市にあわせて日本医労連会館の仲間26名が平和の宣伝行動をしました。取り組んだ署名は「かがやけ憲法署名」と「核廃絶アピール署名」の2種類と平和のシール投票。「集団的自衛権はアメリカの戦争に日本の自衛隊が参戦し、殺し殺されることとなります」「日本に求められているのは、核兵器の被害国として国際的に核廃絶の先頭に立つことです」などマイクで訴え、朝顔を手に持ったたくさんの人たちが賛同し協力してくれました。お昼の短い時間ではありましたが「かがやけ憲法署名」は45筆、「アピール署名」は33筆。シール投票では多くの人が「集団的自衛権行使容認反対」「核兵器は反対」に投票しました。引き続き16日も行います。

黙っていたら大変!このまま安倍政権の暴走を許すわけいけないわ!



多くの人が「集団的自衛権行使容認反対」「核兵器は反対」に投票しました。引き続き16日も行います。

女性人は浴衣での行動でした。

